

臨時農業生産情報

(水稻の刈取適期が早まることに対する技術対策)

令和5年8月17日
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

本年は、出穂期が平年に比べて6日程度早く、その後も県内全域において高温で経過したことから、刈取適期は平年より大幅に早まる見込みです。

刈り遅れは品質低下を助長するため、稲刈りの準備を早めに行い、適期内に収穫できるようにしましょう。

1 刈取適期の予測と留意点

- (1) 主な地域における出穂最盛期からの積算気温(960℃)で算出した刈取適期始めは、9月6日～9日頃となり、平年より10日程度早まると予測される。また、今後もかなりの高温が続く予報となっており、さらに早まる可能性がある。
- (2) 出穂が特に早い地域や、籾数が少ないほ場は、さらに早まると予想されるほか、刈り遅れによる白未熟粒や胴割粒等の品質低下が懸念される。
- (3) このため、ほ場の状態に合わせて落水し、籾の黄化程度等を見極めて、適期に入ったら速やかに刈り終えるようにする。
- (4) 早めに機械点検等の準備を進めておく。

表 主な地域における刈取適期始め(出穂後積算気温960℃到達日)の予想

| 地名 | 本年 | | 平年 | |
|------|-------|---------|-------|---------|
| | 出穂最盛期 | 960℃到達日 | 出穂最盛期 | 960℃到達日 |
| 青森 | 7/30 | 9/7 | 8/5 | 9/17 |
| 黒石 | 7/30 | 9/8 | 8/4 | 9/17 |
| 五所川原 | 7/29 | 9/6 | 8/4 | 9/16 |
| 十和田 | 7/29 | 9/9 | 8/4 | 9/19 |

(注) アメダス使用。8/16まで本年値、以降は平年値で算出。

| 報道機関用提供資料 | |
|------------|---------------------------------------|
| 担当課 担当者 | 農産園芸課 稲作・畑作振興グループ 総括主幹 成田真樹 |
| 電話番号 | 直通 017-734-9480 内線 5073 |
| 報道監 | 農林水産部 次長(農商工連携推進監) 成田澄人 内線 4966 |